

グリーン球場 初の全面改修

三愛病院50周年事業

三愛病院野球部のホームグラウンド・三愛病院グリーン球場（中登別町）が全面改修された。同病院の開院50周年事業の一環。11日には落成式が行われ、千葉泰二理事長・院長や野球部ナインがリニールを祝い、今後の飛躍を誓い合った。（鞠子理人）



野球部は開院2年後の1967年（昭和42年）、病院創立者の故千葉壽良氏が「職場のチームワーク醸成に」この願いを込めて創部。当時は現南病棟の位置にあった「長方形」の旧球場で活動していた。

85年には現在の両翼90呎、センター105呎の専用球場が完成。全道大会なども受け入れた。野球部は道内軟式野球の強豪に成長し、山田大樹主将が、恵まれた環境は理事長や職員

の皆さまの理解があつてこそ。来年は道内、冠達成と、全国での勝利を目指す」と約束した。

関係者のテープカットに続き、千葉理事長・院長が出席者全員での記念撮影なども行われた。

来季の全国出場誓う

長、これまでに天皇賜杯で5回、国体に4回出場するなど、全国でも存在感を示している。

球場の全面改修は85年の供用開始以降初めてで、周年事業と位置付け約2千万円を投じた。全面を囲むネットを一新、外野フェンスを木製からアクリル樹脂に

変更「三愛病院」の文字を入れた。水はけを良くするためのパイプも敷設した。この日は部員15人ほか病院関係者、施工業者ら約40人が出席。千葉理事長・院長が「一部の活躍を期待し全面改修しました。今季は全国出場がなく悔しい思いをしましたが、来年は出場できるように頑張つて」とナインを激励。

上田政樹監督が道内トップクラスの練習環境に感謝しながら「新球場で存分に練習に励み、全国を目指したい」、山田大樹主将が、恵まれた環境は理事長や職員

の皆さまの理解があつてこそ。来年は道内、冠達成と、全国での勝利を目指す」と約束した。

関係者のテープカットに続き、千葉理事長・院長が出席者全員での記念撮影なども行われた。

三愛病院グリーン球場の落成式でテープカットする関係者